

新規事業評価調書

【砂防事業】

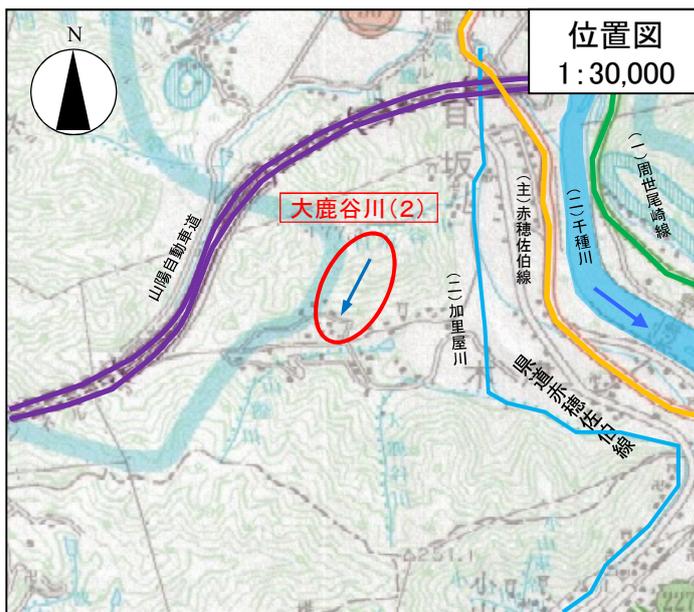
大鹿谷川（2）

県土整備部
土木局 砂防課

投資事業評価調書（新規）

部課室名	県土整備部土木局 砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 高谷和彦 (班長 肥田憲明)	内線	4459 (4467)	
事業種目	事業名	事業区間	総事業費	内用地補償費	着手予定年度	完了予定年度
砂防事業	通常砂防事業 おがや 大鹿谷川（2）	赤穂市 きづ 木津	1.2億円	0.1億円	平成27年度	平成29年度
事業目的			事業内容			
<p>当溪流は、土石流発生の危険性が高いことから、土石流危険溪流となっており、保全対象は人家66戸、千種集会所、市道がある。</p> <p>そのため、地域の人命・財産を守り、安全・安心な暮らしを支えるために、「第2次山地防災・土砂災害対策5箇年計画(H26～H30)」に基づき、砂防事業を実施する。</p>			<p>砂防えん堤工 1基 (高さ 11.0m, 延長 50.0m) 【負担割合】 国・県：各50%</p>			
評価視点	評価結果の説明					
(1) 必要性	<p>① 大鹿谷川(2)は、(二)千種川水系加里屋川に流入する土石流危険溪流である。</p> <p>② 平成26年5月に山火事が発生し、当溪流周辺一帯の樹木が消失する被害が発生した。現場は、裸地が剥き出しの状態であり、大きな転石も多数見受けられる。</p> <p>③ 溪床には土砂が厚く堆積し、多量の土砂が流出する可能性があり、谷出口には人家があることから、土砂災害の危険性が高い。</p>					
(2) 有効性・効率性 (執行環境状況)	<p>① 警戒避難体制の整備に加え、ハード整備により土砂災害対策の充実を図り、地域の安全・安心な暮らしの確保に大きな効果がある。</p> <p>② 地元要望が強く、工事中進入路の確保など、工事に対する地元の理解が得られていることから、円滑な事業執行が可能である。</p>					
(3) 環境適合性	① 地山の改変を最小限にとどめ、改変箇所は緑化復旧に努める。					
(4) 優先性	① 保全対象には人家66戸があるほか、千種集会所、市道がある。また、山火事の影響で流域の荒廃が進行していることから、早期事業着手を図る。					

おがやがわ
大鹿谷川(2)
[赤穂市]



計画概略図

